

令和3年度12号
2022年3月1日
住み良い町づくりへ
ご意見・情報をお寄せください★

元気！緑&芥見東 自治会だより

<http://akutamidorittko.web.fc2.com/>

発行
岐阜市 芥見東自治会連合会
芥見東まちづくり協議会
発行人:山田 正行
編集:自治会だより編集部

☆新型コロナウイルス感染症【岐阜市第六波感染拡大阻止宣言】

消防署 春の火災予防運動に向けて

一岐阜中消防署東分署

春の全国火災予防運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防に対する意識を普及することで、火災の発生を予防し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年3月1日から3月7日までの期間に実施しているものです。

近年火災の発生件数は、減少傾向でありましたが、コロナ禍における自宅等での巣ごもり生活の増加により、火の取扱いが増え、火災の発生が増加傾向に見受けられます。実際に、岐阜市消防本部管内においても、令和3年の火災件数は145件で、前年の136件に比べると9件増加しています。

出火原因は様々ありますが、近年では電気関係による火事も増えていますので、普段使用している、電化製品、電気配線等の確認を今一度見直してみてください。また、火災による逃げ遅れを防ぐためにも、住宅用火災警報器の未設置の方は、設置するようにしましょう。□■

十六銀行 ヘルパーとして乗車して

一十六銀行芥見支店支店長・水野 智博さん

十六銀行芥見支店へ来店されるお客様の多くが、「みどりっこバス」をご利用になられています。このバスの安心・安全な運行の一助になればと、2021年12月25日(土)と2022年1月8日(土)の2日間、行員がヘルパーとして「みどりっこバス」に乗車しました。

車内でお客様に挨拶すると、「元気に挨拶してくれると、年寄ばかりの車内が明るくなるわ。」と反応は良好でした。また、我々が気付いたことは、車内が住民の方々のコミュニケーションの場として定着していることです。

「〇〇が悪いから、〇〇病院に通院しているの。」などの会話が多く聞こえてきました。近所付き合いが希薄になったと言われている今日において、とても重要な存在であると言えるでしょう。



一方で、「みどりっこバス」の安心・安全な運行が継続的に実現するためには、ヘルパーの存在が欠かせません。皆さんも、是非ヘルパーとして乗車してみてください。「みどりっこバス」が地域に必要なものであることを再認識できると思います。□■

中学校 小学生や地域の方との関わり

一藍川東中学校1年2組・傳 胡桃さん

私はこの1年間ハートルーム委員として活動してきました。ハートルームとは、地域の方々と一緒に活動ができる場所です。私はそこで、小学生や地域の方と一緒に、ハロウィーンやクリスマスなど、季節のイベントのときにみんなで楽しく部屋の飾り付けをしました。

クリスマスには、紙コップや色紙、モール、小物を使っているいろいろな飾りを作りました。それをクリスマスツリーに飾り、ハートルームと芥見東公民館に展示させていただきました。地域の方も一緒に活動して下さることで、自分では気づかなかったことに気づいたり、みんなで達成感を得られたりしてとても楽しいです。



この活動のおかげで、小学生や地域の方との関わりが生まれ、新しい考えに出会ったり、みんなで作ることで達成感を共有し、自分の学びにつながる経験になったりします。

ここで学んだことを学校生活や、普段の生活に活かしていけたらよいと思います。□■

体育振興会 ～令和4年度に期待～

一芥見東体育振興会会長・森 修さん

令和2年、3年と当体育振興会も他団体さんと同様に行事らしき事は実施出来ませんでした。第5波、6波と感染者数が増えて気が抜けない2年間でしたが、現在のオミクロン株は重症化しにくいとか、対応する飲み薬も開発されているとか少しは明るい兆しもあるようです。来年度は基本対策をしっかり取り、安全に運営できる事を確認の上、他団体さんと足並みをそろえて実施していきたいと思っています。



さて現在は全市的に自治会加入率が低下し、高齢化の波のなかで、自治会、各種団体の運営は大変難しくなっていると聞いていますが、健康第一で自分で動き、自分で食べ、少しでも長く体を良い状態で維持するために体育振興会の行事に参加し、地元のふれあい活動に参加していただければと思います。□■

配布
大洞 4-53
東山 4-53
北山 38-339
北 5-85
桜台 23-293
桜市 25-112
5棟 4-16
6棟 4-23
2P 1-11
柏台 31-288
14棟 4-22
15棟 4-15
桐丘 23-168
桐市 6-25
紅葉 20-231
紅市 16-70
合計 212-1804

★「こうしては？」のご意見や話題、知恵、ご要望などを、芥見東公民館ポストまでお寄せください

☆オミクロン株の感染が拡大しています。手洗い、手指消毒、換気、マスク着用、少人数での黙食など基本的対策に努めましょう。

寿楽会便り 全国に誇る健康長寿の街

—北山寿楽会会長・船坂 民平さん

「住み慣れたら、都」、北山に移住してすでに半世紀。それまで市街地の名鉄加納駅に近い場所にいた。そこからの移住。その頃は、なんと爽やかなところだろう。空気がうまい。裏山から鶯の声も届く。ヒノキ風呂の香りも佳し。実に新鮮な気分であった。それから58年、生活環境は大きく変わったものの、終の住処としては最適地と思ってきたが。

1月15日(土)の中日新聞に、岐阜市長選を前にして、岐阜市のさまざまな地にスポットを当てて、その地の課題を取り上げた特集記事の第1号に芥見東地区が挙げられた。その内容の主なことを抜粋すると、こうである。

その1、高度経済成長期に建設された大洞団地の住民が大半の芥見東地区。昭和40年代に子育て世代が移り住んだが、子どもたちは根づかず、高齢化が進む。高齢化率(65歳以上の割合)は市全体の約29%に対して43.09%。平均年齢は54.60歳で、市内で最も高齢化している地域。

その2、最近一人暮らしのお年寄りも増え、その見守り活動など地域の支え合いでは担いきれない、そろそろ限界という課題もでてきた。

その3、「ここは昔若い家族がいっぱいやったが、今は年寄りだらけ。できれば駅前の大きな建物だけでなく、地区の将来を真剣に考えてもらえたら」。「政治のリーダーが近い将来のビジョンを示して安心させてくれたら」と思う。「市中の大型事業だけでなく、過疎地にも目を向けて」との声も聞こえる。コミバスは乗客とともに将来の不安も乗せて今日も山あいを走っている。

その1とその2は、この地域の実情。その3は、住民の正直な気持ちである。同時に記者の思いでもある。この実情も住民の声も決して新たに発生した問題ではない。かなり以前から将来を不安視され、懸念されてきた問題である。しかも、これからの進展、明るい展望が見つからないことが更に深刻である。昼間の柳ヶ瀬、人がまばらに通るだけ。これも随分以前から心配されてきたこと。遅きに失したとはいえ、今こそ県都にふさわしい街創りの将来設計、総合計画の青写真を市民に示すチャンスである。



言い辛いことであるが、現実問題として、近隣の関市や各務ヶ原市が完全に先を走っている。朝の通勤時、交通の流れは市内より市外へ向いている。名鉄線の跡地

が関市に入ると消えて、広い道路に生まれ変わっている。統計からでなく、あくまで主観だが、財政的にも人口構成でも明るいのは両市である。若さや活気があるのは両市である。もはや、芥見東の住民にとって、岐阜の中心部は行く要件も魅力もない遠い存在になった。近隣の関や各務ヶ原がどれほど身近になっていることか、芥見東地区が、岐阜市内から岐阜市外になりつつあるこの現状を厳しく直視しなければならない。

2月6日、4年に1度の市長選挙。柴橋現市長さん、せめて一言、芥見東の限界地域に光をあてたメッセージをお願いしたい。

全国に誇る健康長寿の街、脚光を浴びる芥見東地区
上記のような現実を冷静に受け止めながら、そこにとどまらず、一歩歩み出さなければならぬ。まずは、岐阜市老人クラブが「清流クラブ岐阜」と名称変更したように、芥見東老人クラブもシニアクラブ芥見東と変えたらどうだろう。人生の大先輩、人生の大老として闊歩する街、芥見東地区。シニアクラブが、「健康長寿の街、脚光を浴びる芥見東」の牽引車になる元気を、そして心意気をなんとかもちたい。



編集後記・自治会だより編集委員

今年度もコロナ禍で明け、コロナ禍で終えようとしています。自治会だより発行に際し、各支部長、各種団体の皆様、児童、生徒の皆様、及び連合会役員の皆様にはご協力を賜り誠にありがとうございました。

今年度実施できた主な行事は、ごみゼロ啓発運動、防災訓練、クリーンシティぎふ、新成人を祝い励ます会で、実施状況を自治会だよりに掲載させていただきました。その他、計画されていた行事は、感染拡大の影響を受け中止せざるを得ませんでした。

新年度はコロナも終息に向かい、ワクチン接種、基本的感染対策を実施して今年度以上に行事が行われ、紙面でご報告出来ることを願っています。

令和4年4月からプラスチック容器包装の分別収集が始まります。

☆みどりっこバスヘルパー募集→ヘルパーに参加して地域デビューのきっかけにしませんか、連絡をお待ちします。みどりっこバスヘルパー会 0241-1062

まちづくり協議会紹介パネル展→2月21日～3月1日 会場メディアアコスモスドキドキテラス